

商業科教育法Ⅱ

担当教員：田 中 修 一

2単位

設 題

◆第1問 学習プリントの演習問題Ⅱから、各問の解答を記入しなさい。

- (1) 演習問題Ⅱ－1の科目「財務会計Ⅱ」の「第2 内容とその取扱い」から、『①内容を取り扱う際の配慮事項イについて、「大切である。」と示されている点』について、まとめた内容を書きなさい。(200字程度)
- (2) 演習問題Ⅱ－5の『(3) 6-5-4「ソフトウェア活用」の授業改善』から、「②評価の観点(3つの観点)」を参考にし、指導項目「(2) 表計算ソフトウェアの活用」に該当する評価規準の具体例を簡潔に書きなさい。(解答用紙に次の表を自作し、5行以内で記入をまとめること)

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

- (3) 演習問題Ⅱ－9の「(1) 第1節 指導計画の作成に当たっての配慮事項」の「① 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」の「ア) 授業改善の取組を推進するための観点」から、「5 障害のある生徒などへの指導」について、商業科における配慮としてまとめた内容を書きなさい。(200字程度)
- (4) 演習問題Ⅱ－10の「(2) 第4節 総則に関する事項」から、「学校設定科目(総則第2款3(1)エ)」の「配慮する必要がある点と商業科において」の解説について、まとめた内容を書きなさい。(200字程度)
- (5) 演習問題Ⅱ－13の「(1) 7-1 指導計画の意義と作成」の「④7-1-4学習指導案の作成」から、「目標及び内容の設定」の「(2) 指導目標の設定と(3) 指導内容の設定」について、まとめた内容を書きなさい。(200字程度)

◆第2問 次の文を読んで、1単位時間(50分)の学習指導案を作成しなさい。

高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説商業(平成30年7月)の科目「簿記」では、「2 内容 (4) 本支店会計 イ 財務諸表の合併」について、「ここでは、支店会計が独立している場合の本店と支店における決算手続きの流れ及び内部利益を含まない合併財務諸表の作成方法について扱う。」こととされています。このことを踏まえて、本単元の学習指導案(別添様式1を使用すること)と教材として使用する問題用プリントを作成しなさい。

なお、本単元における配当授業時数は最大8時間(1単位時間は50分)で「イ 財務諸表の合併」の配当授業時数は3時間とする。学習指導案の作成にあたっては、配当授業時数3時間のうち1時間(50分)を作成しなさい。

学習指導案には、学習単元のねらい、指導内容、留意点(教師の指導)、評価規準、評価方法について、具体的に記載すること。(文字数：指定なし、ページ数：2ページ以内)
問題用プリントは、形式・枚数は自由とする。

作成方法は、ワープロソフト「Word」で作成【横書き】(手書きまたは写真での提出は認めない)

ワープロ	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙(無地：A4縦判) ・「通信教育部標準フォーマット」【余白：上35mm下左右各26mm 文字数：1行40字 行数：1頁40行 フォント：MS明朝・10.5ポイント】
文字数等	<ul style="list-style-type: none"> ・各問の指示に従うこと。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各問の指定字数にある「〇〇〇字程度」とは、指定字数を超えても50字以内にまとめること。 ・末尾に解答した字数を明示すること。例：(250字) ・解答用紙には、第1問(1)と表記して解答を記入すること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・第2問の学習指導案の作成では、必要に応じて線で区切ったり、文字サイズを調整するなど工夫して良い。なお、教材として使用する問題用プリントは、学習指導案に添付して提出すること。